

令和3年度「測量の日」関連行事「測量・地図学習会」高知地区での 測量実習を（一社）高知県測量設計業協会が実施

測量と地図に関する情報や知識について、国民への普及・啓発活動の一環として、6月23日(水)に高知県立高知工業高等学校で測量実習を実施しました。参加者は土木科3学年生(40名)で、指導員は、当協会の20名(第一コン14名、構管技術6名)が努めました。最初に、当協会の吉田広報委員長より挨拶を行い、実習概要の説明後、実際にモバイル3Dスキャナを使用した計測方法を見学していただきました。



吉田広報委員長の挨拶



モバイル3Dスキャナの計測状況

次に5人1組の8班に分かれてGNSS測量機を使用し、ネットワーク型RTK(単点観測法)により、中庭の既設基準点を観測し座標差を確認しました。また、テニスコートの枠線を観測し、電子平板上の背景地図と計測位置が合っているか確認を行いました。

次に、実際にモバイル3Dスキャナで計測した校内の3次元データを見学していただきました。



既設基準点の観測状況



テニスコートの観測状況



モバイル3Dスキャナ計測データの見学

最後に、当協会の吉田広報委員長より「今回の実習により最新機器の測量技術を実感して頂けたと思います。また、土木を専攻されている皆様、この業界に少しでも魅力を感じ、高知県を支える若い力として活躍してくれることを期待しています。」と挨拶があり実習は終了しました。